

さくらもり
桜守活動の発足に向けて

桜守活動とは、地域の皆様で地域の桜を守るボランティア活動のことです。桜守活動で日常的に桜を見守ることにより、より良い維持管理をすることができるとともに、地域のコミュニティ形成や活性化も期待できます。桜守活動で桜を守り、地域の財産として愛される桜の景観を形成していくことを目指します。

＜桜守活動内容＞

①日常的な点検・観察作業

桜の健康状態や周囲の状況の観察を行い、桜の変化や異常を早期発見します。

②施肥

落ち葉などでつくった堆肥で土壌改良を行い、桜の活力を回復させます。

③桜のPR活動

桜の観察会や維持管理作業の内容を地域の皆様に発信していきます。



枝こぶ(増生病)発見



花芽観察

目黒の桜保全事業の流れ

1

樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の状態を把握します。倒木の危険のある桜については先行して伐採を行い、安全確保を図ります。

2

桜再生実行計画の作成

桜の保護、植替えについて地域の皆様と検討を行い、地域に合った桜再生実行計画を作成します。

3

保全・更新

桜再生実行計画に基づき、保護や植替えを進めていきます。

お知らせ

○今回ご提案した九品仏川緑道桜再生実行計画(案)につきまして、皆様のご意見を伺いたいと思っております。下記のお問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。

募集期間は令和3年2月1日までとさせていただきます。

○3月には、皆様のご意見を生かした九品仏川緑道桜再生実行計画をご提示する予定です。

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール:midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp



目黒の桜基金にご協力をお願いします

桜基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL: <https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



ふるさとチョイス

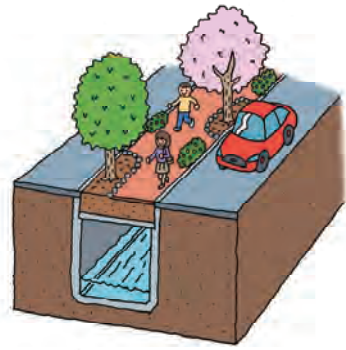
九品仏川緑道桜再生実行計画(案)
を作成しました

令和2年(2020年)11月にニュースレター第2号で、九品仏川緑道の桜が抱える問題点と再生方針についてご案内し、皆様からご意見を募集しました。桜の将来像や今後の管理方法も検討しながら桜再生実行計画(案)を作成しましたのでお知らせします。本計画案について皆様のご意見をお待ちしています。



緑道の現状と課題

九品仏川緑道は川の上にコンクリートの蓋をかけて土を盛った人工地盤の上に作られ、根を張る範囲が限られています。近年、桜の老齢化や環境の変化により、衰えの目立つ木が増えてきました。そこで、平成30年度に116本の桜について、樹木診断を行いました。全体の約8割は、すぐに植替える必要はありませんが、根や幹の材の腐朽や病害虫等の被害が見られ、樹勢が衰退傾向の桜もあり、計画的な保全が必要になります。



桜の問題点

桜の問題点	原因
1 樹勢不良、幹の傾き、巻根、舗装に亀裂、縁石の押し出し	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 土壌が固く、水分も少ない ▼ 建物や通路が近接し、根、枝が伸長できる空間が狭い
2 住宅地で生育スペースが狭い	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 深植えで根は酸素と水分が不足 ▼ 低木、中木の過密植栽で根が競合 ▼ 電線と樹冠が接触
3 植栽間隔が狭く新たに植えた若木も衰弱、成長不良	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 老木の多くが病害虫にかかっている ▼ 枝どうしが接触して菌が伝搬 ▼ 空気中、土中の菌感染
4 剪定で樹形が崩れ、景観悪化、根上がりで歩行の障害	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 踏圧による土壌の固結と根に傷、巻根による壊死で樹勢衰退 ▼ 通行の安全のため枯枝剪定が必要



①・④ 植栽空間が狭く根を伸ばせない→根上がりして、根が舗装を壊してしまいます



② 植栽間隔が狭い→枝どうしが接触、剪定により樹形が崩れてしまいます



③ 幹や大枝、根が腐朽している→幹や根が空洞になり、倒木する危険があります

現地調査会及びアンケートの主なご意見

九品仏川緑道の将来

・桜にも人にも、生きやすい場所に。

桜について

- ・品種をいろいろにして、ソメイヨシノが終わっても他の品種が咲き、長い間楽しめるように。
- ・緑道の土壌や気候に合う、丈夫で成長の遅い種類を。

歩道の整備について

・緑道と車道、両方に良い植樹計画を。

桜の管理について

・花びらから枯葉まで、緑道の掃除が大変。でも楽しみでもある。常にきれいしておくことが大切。

②九品仏川緑道の将来像～多彩な品種で桜の花を長く楽しめる緑道に～

エリア1 自由が丘駅(商店街近く)の景観改善



- ・緑道の歩きやすさと桜の健全育成を両立させる
- ・ソメイヨシノより小型で同系統の花を咲かせるコシノヒガン、コヒガン、ヤエベニヒガンの品種に植替えを行う

エリア3 住宅地の景観改善



- ・枝の重なりや電線への接触等を回避するためソメイヨシノより小型の桜の品種に植替えを行う
- ・さまざまな遅咲き品種を中心に配置し長く桜を楽しめるよう工夫する



エリア1
自由通りから踏切(緑が丘2-16先)まで
コヒガン、コシノヒガン、ヤエベニヒガン

エリア2
踏切から緑が丘2-5先まで
コヒガン、コシノヒガン、ヤエベニヒガン、ベニユタカ、シロタエ、コケシミス、オモイガワ、ギョイコウ(エリア1とエリア3の混植)

エリア3
緑が丘1-21先から呑川本流緑道まで
ベニユタカ、シロタエ、コケシミス、オモイガワ、ギョイコウ

緑道の現状と皆様のご意見から

<サクラ再生実行計画(案)>を以下のように考えました。

①桜並木の再生に向けて～人と桜にやさしい緑道に～

(1)桜の保全

現在の桜を健全に育てて、出来る限り保全に努めていきます。

(2)植替え

やむをえず倒木の危険により伐採した場合には、すぐに同じ場所に補植せず、周辺環境に合わせて植替えを行います。

(3)根の保全

現在、1本ずつ桜が植えられている場所については植替え時に、2本ずつまとめた植栽帯の整備を行った上で、大型のソメイヨシノから小型の品種へ変更していきます。



狭い間隔では生育不良に 間隔を広げて元気な桜を育てる
植替え時は、成長後の大きさを見越して適切な植栽間隔を確保して植替えを行います



植栽帯と歩道を分離して安全安心な通路確保と根元保護を両立します



コヒガン
(一重咲・小輪・淡紅)



コシノヒガン
(一重咲・中輪・淡紅)



ヤエベニヒガン
(八重咲・中輪・淡紅)



ベニユタカ
(八重咲・大輪・濃紅)



シロタエ
(八重咲・大輪・白)



コケシミス
(一重咲・中輪・淡紅)

桜の開花カレンダー

品種名	3月			4月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
コヒガン		✿				
コシノヒガン		✿				
ヤエベニヒガン		✿				
ベニユタカ				✿		
シロタエ					✿	
コケシミス				✿		
オモイガワ				✿		
ギョイコウ						✿



オモイガワ
(半八重咲・中輪・淡紅)



ギョイコウ
(八重咲・中輪・黄緑)